

芸術の力で

越後妻有トリエンナーレ

地域の可能性、引き出す試み

十日町市と津南町で開催中の「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2015」は、この地ならではの大自然を舞台にした現代アートの祭典だ。閉校した学校を芸術活動の拠点にするといった再生の試みが進んでおり、地域の可能性を芸術の力で引き出すとする芸術家たちの前向きな姿勢が目立つ。

日本三大渓谷の一つに数えられる十日町市の清津峡に、清津倉庫美術館が芸術祭に合わせて開館した。閉校した旧清津峡小学校の体育館が、美術作品の展示施設、倉庫として生まれ変わった。巨大作品が並ぶ開館記念の特別展が企画されている。

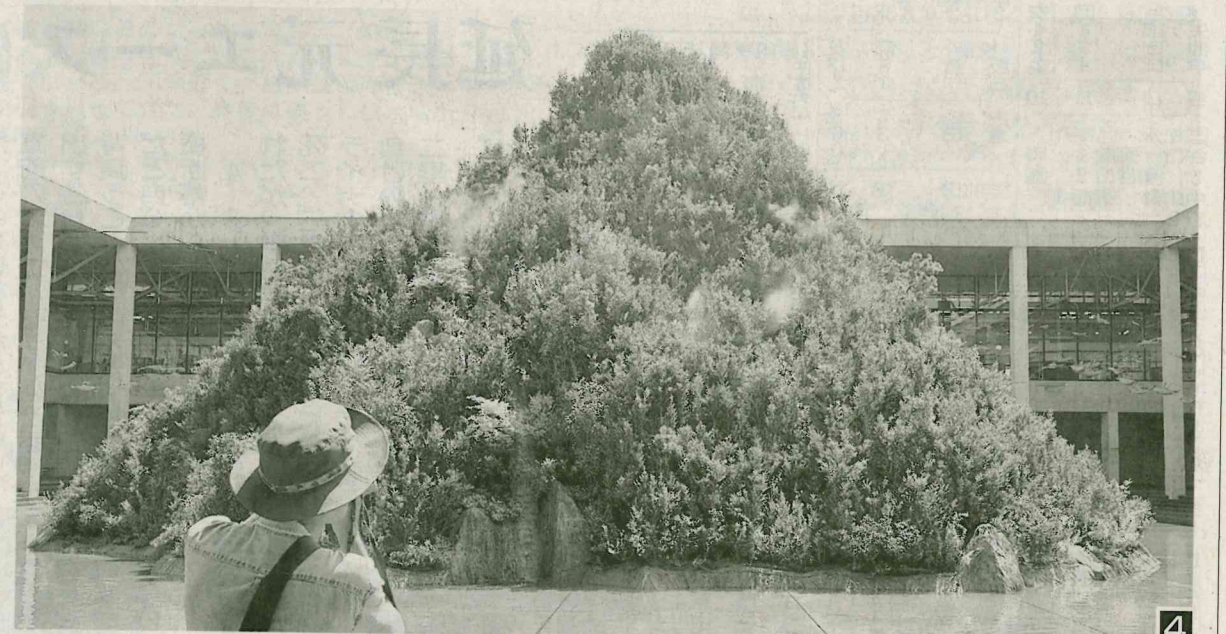
1



国際交流 大地の芸術祭の鑑賞や農業体験のために来日した香港の生徒たちと十日町高校松之山分校の生徒たちが笑顔で交流した＝十日町市松之山光間

十日町高校松之山分校には、開校直前の24日、香港の中学校で学ぶ生徒ら約20人が訪問した。青山学院大の教員らの協力で実現したもの。香港の生徒たちは松之山の生徒たちと好きな食べ物やアイドルの話を笑顔で交わしながら、3年に一度の「世界最大級の国際芸術祭」を実現させている地域の力を学び取っていた。

大地の芸術祭は9月13日まで。問い合わせは芸術祭実行委員会事務局(025・757・2637)へ。(江川慎太郎)



4



5

1「時の殻」 旧上郷中の一室が天井まで樹木に覆われ、壁にはたくさんの図書や昆虫標本、地球儀が並ぶ。滝沢達史が手がけた津南町上郷宮野原

2「人生のアーチ」 十日町市のまつだいい駅近くにある高台には、イリヤ&エミリア・カバコフ(ロシア/アメリカ)の作品が設置された。

3「火薬絵画」 越後妻有里山現代美術館キナールで25日に開かれた前夜祭で、中国出身の芸術家・蔡國強が火薬を使って制作した絵画の一部＝十日町市本町6丁目

4「蓬莱山」 キナールの中央にある池には、蔡國強が手がけた巨大な鳥が出現。池の周囲には無数のわら細工がつけられている＝十日町市本町6丁目

5 清津倉庫美術館 閉校した清津峡小学校の体育館が美術館として生まれ変わった＝十日町市角間